

# サイエンスフィルムカフェ&ワークショップ2012

## ～科学でつながる～

- 実施期間 2012年9月15日(土) ～ 9月16日(日)
- 場 所 科学技術館 4F 『実験スタジアム R』
- 参加費用 無料(科学技術館の入館料は必要です)
- 定 員 50名

### ■ 9月15日(土)

12:00-12:30 1-1 オープニング

上映会 「技術を継ぐ 東京ゲートブリッジ橋梁上部築造工事記録」(25分)  
(第53回科学技術映像祭 研究開発部門優秀賞)

13:00-14:30 1-2 ワークショップ 『映画「津波」の授業で防災を学ぼう』

出演者 長谷川 智子(荒川区中学校理科教師)  
櫻井 順子(埼玉県高校理科教師)

**参加対象①小学校高学年の親子  
②防災教育に関心のある教員他**

15:00-16:30 1-3 上映会&トークショー 『千石先生 つながりあういのち』

上映作品『千石先生のいのちはみんなつながっている』(30分)  
(第53回科学技術映像祭 自然・暮らし部門優秀賞) 他

出演者 原田 稔也(映像製作者) 他(調整中)

**注)ワークショップ、トークショーの参加者は、筆記用具をご持参願います。**

### ■ 9月16日(日)

13:00-14:30 2-1 上映会 I 『流 ～ながれ～』(85分)

(第53回科学技術映像祭 文部科学大臣賞【自然・暮らし部門】)

14:30-15:00

舞台挨拶  
村上 浩康 (流 監督)  
能勢 広 (流 撮影)

15:00-16:30 2-2 上映会 II 『流 ～ながれ～』(85分)

(第53回科学技術映像祭 文部科学大臣賞【自然・暮らし部門】)

**申込・問合せ 科学技術映像祭 eメール [filmfest@jsf.or.jp](mailto:filmfest@jsf.or.jp) までお願いします。**

申込方法: 参加プログラム名ごとに、参加者氏名・年齢(2名まで)、eメールアドレスを明記の上、  
[filmfest@jsf.or.jp](mailto:filmfest@jsf.or.jp) にお送りください。

申込締切: 8月31日(金) 17時

(申込多数の場合は抽選のうえ、eメールにて参加通知を送付します。)

科学技術映像祭ホームページ <http://ppd.jsf.or.jp/filmfest/>

# サイエンスフィルムカフェ&ワークショップ2012～科学でつながる～

## プログラム紹介

■ 9月15日(土)

12:00-12:30 1-1 オープニング

上映会「技術を継ぐ 東京ゲートブリッジ橋梁上部築造工事記録」(25分)



東京港に架かる東京ゲートブリッジが、今年2月に開通した。制限のある空間内に巨大構造物を精度よく、両側から橋を造り、中央をつなぐ難題を乗り越えるチームワーク。作り上げる技術の粋やエンジニアたちの心意気が伝わってくる。

13:00-14:30 1-2 ワークショップ『映画「津波」の授業で防災を学ぼう』

津波の波は、ふだん目にする海の波とはまったく性質の違う波です。津波の波がなぜ危険な波なのか、「津波」の映画を見ながら、津波のメカニズムを学びます。科学教育からアプローチする防災教育。



長谷川智子さん(左奥)と櫻井順子さん(中央)  
サイエンスフィルムカフェ2012 より

15:00-16:30 1-3 上映会&トークショー『千石先生 つながりあういのち』



今年、亡くなられた千石正一先生。「どうぶつ奇想天外」や「わくわく動物ランド」でおなじみでした。千石先生が末期ガンと闘いながら、通いつめた西表島を最後の舞台に、「地球のいのち、そして生き物のいのちは、みんなつながっている」ことを訴え、こどもたちには「学ぶことの面白さ、大切さ」を語りかける。

■ 9月16日(日) 上映会『流 ～ながれ～』(85分)

13:00-14:30 2-1 上映会 I

15:00-16:30 2-2 上映会 II



神奈川県中津川、その河原に生息するカワラノギクが絶滅しかかっている。「無くなってしまっただけでは遅いんです」そうやって、カワラノギクの種を育て、苗を河原に植えつづける男性。中津川の水生昆虫を調査し、川の水質とダムの影響を昭和の時代から調べ続けている男性。すでに、八十歳を超えたお二人の自然を見る目の温かさを10年かけて追ったドキュメンタリー。

14:30-15:00 舞台挨拶 村上 浩康(監督) 能勢 広(撮影)